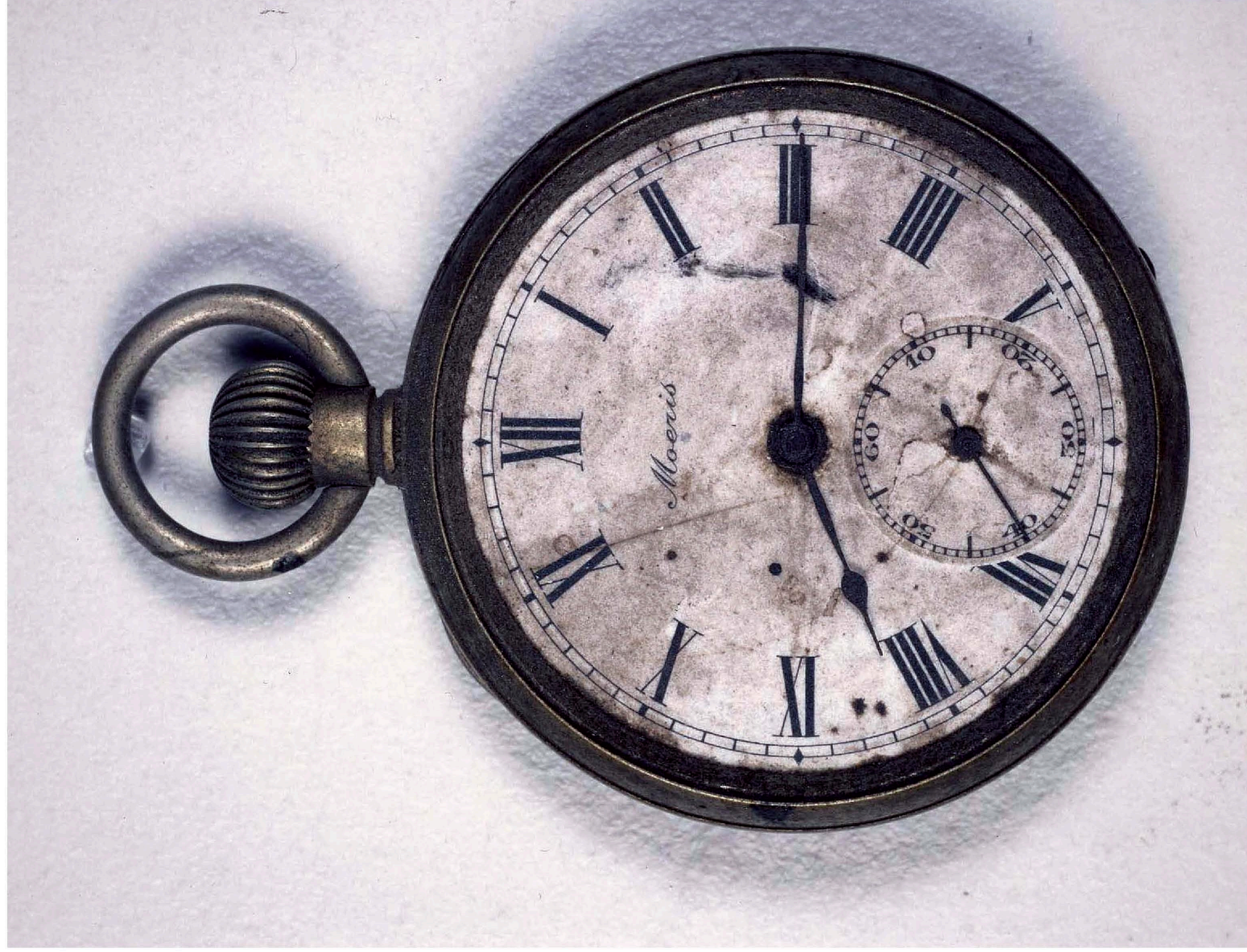


じふん と けい
8時15分で止まった時計 — 広島 —



二川謙吾さん(当時59歳)は、市の中心部へ建物疎開作業に向かう途中、被爆。右肩から背中、頭部に大火傷を負い、8月22日に死亡。この時計は、息子から贈られたもので、肌身離さず持ち歩いていた。

爆心地からの距離 / 1,600m
二川一夫氏寄贈 / 広島平和記念資料館提供